



めざせ！ワンハート

みなさまへ

寒い日が続いていますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。現在、市内のあちこちで「居場所づくり」や「助け合い活動」の創出に向けた話し合いが進められています。今月は「第2層協議体小規模情報交換会」が開催されます。この会で得た情報をそれぞれの地域へ持ち帰り、各協議体で必要とされる活動を生み出すための参考にしていきましょう。今年度もあとわずかです。暖かくなる春に向けて、一緒に頑張りましょう！

八幡地区

居場所づくり「のぶこちゃんち」開始



【目的】週1回営業している小さな八百屋さんでの「居場所」づくり

【経緯】一人暮らしののぶこさんが週1回開けている八百屋さん

あんしんセンターが訪問したことをきっかけに、地域の居場所づくりが始まりました。

買い物や立ち話で人が自然に集まる様子から、ここを「誰もが気軽に立ち寄れる場」にできないかと考え、11月より月1回のお茶飲み会を開始しました。

【様子】民生委員や区長による周知や地域支え合いサポーターさんの参加により、活動の輪が広がり、みんなで話し合いを重ねました。「誰もが気兼ねなく参加できるように」と、協力金100円を集めるようになり、地域支え合いサポーターさんが世話人に手を挙げてくださいました。

【今後】2月から「のぶこちゃんち」として、月2回の住民主体の居場所としてスタートします。

第1層生活支援コーディネーターよりお願い



生活支援コーディネーター通信は、市内外の協議体の取り組みや様々な助け合い活動を紹介したいと思っております。市内の活動で掲載して欲しい活動があればコーディネーターまでご連絡ください。その他、ご意見、ご感想もお寄せください。お待ちしております。また、**「新しく支え合い活動を立ち上げたい」**、**「既存の活動を今後どうしていけばよいのか困っている」** そうしたみなさんからの相談も第1層生活支援コーディネーターまでお気軽にお声がけください。

協議体



新たに協議体に参加



下大類町内会の役員に声を掛け、町内の課題を共有



地域の高齢化を確認したところ大類地区で下大類町内会が一番高齢化率が高い

第1層SCと打合せ

一緒に考えていきましょう

“ビジョンを共有”
どんなことを地域でやりたいかを整理



助け合いや居場所づくりが必要な背景について勉強会

協議体メンバー



民生委員



副区長



第1層SCより
地域で助け合い活動や居場所を立ち上げてみよう！
勉強会参加者みんなで意識合わせを行う

“みんなで作戦会議”
居場所や助け合い活動を始めてみたいがどのようにしたらよいのだろうか…



実際に居場所づくりや助け合い活動をしている様子を見てみよう！

上中居第1町内会 一休さん 見学



自分たちでもできる形を模索してみよう！

【目的】 下大類町内会で「助け合い活動」と「居場所」の創出

【経緯】 新たな協議体メンバーが、「自分の住む下大類町内会が大類地区の中で最も高齢化率が高い」という現状を町内会役員と共有しました。改めて助け合いや居場所の必要性を再確認し、第1層SCと打合せを行い、勉強会を開催。その後、メンバー間で「実際の活動の様子を見てみよう！」という話になり、上中居第1町内会の「一休さん」を見学し、情報交換を行いました。

【様子】 実際の居場所を見学しながら、参加者の方々と直接意見交換を行いました。上中居第1町内会で実施している「助け合い活動」の具体的な仕組みや運営の様子についても詳しく伺うことができ、非常に有意義な時間となりました。

【今後】 協議体と情報共有を行い、下大類町内会で居場所や助け合い活動創出に向けて検討します。

くらしくらぶ 大田原市第2層協議体メンバー視察受入れ

【様子】当日は大田原市第2層協議体メンバー8名が来訪され、1カ月の活動課題を共有する「定例会」を見学した後、意見交換を行いました。意見交換では、実際の活動で使用している書類や仕組み、ルールについて具体的な質問があったほか、活動上で気を付けている点などについても活発な質問が飛び交いました。くらしくらぶの皆さんも、これまでの活動の軌跡を振り返りながら、有意義な情報共有を行うことができました。

その後、メンバー同士の交流も兼ねて食事会を行い、さらにざっくばらんな情報交換も楽しむことができました。

【今後】今回の交流を通じて、くらしくらぶの皆さんも大田原市の活動を知ること、自分たちの今後の活動に役立つ新たな視点を得ることができました。



ばーば達のお花畑 安中市社会福祉協議会 視察受入れ



【様子】当日は、安中市協議体メンバー13名の皆さまが見学にいっしょにしました。まずは畑での居場所づくりの様子を見学した後、集会所へ場所を移して意見交換を行いました。意見交換では、事前に寄せられていた「参加者の集め方」「運営の工夫」「活動の財源」といった具体的な質問に対し、ばーば達のお花畑の代表者が回答。さらに、「どうすれば新しい人を巻き込めるか」「どうすれば活動を継続できるか」といったテーマについて、住民同士で意見交換が行われました。

【感想】安中市のメンバーからは、「実際の活動を見学し、皆さんの意気込みに非常に刺激を受けました。今回得た情報を自分たちの今後の活動にも活かしていきたい」との感想をいただきました。

高崎市生活支援体制整備事業 北海道社会福祉協議会 視察受入れ



【様子】北海道社会福祉協議会主催の生活支援体制整備事業研修の一環として、北海道内の市町村社会福祉協議会職員11名と、北海道社会福祉協議会職員2名、合計13名の皆さまが高崎市にお越しくださいました。高崎市からは、行政と第1層SCが事業全体の仕組みを説明。また、第2層八幡地区協議体の具体的な活動紹介については、あんしんセンターより報告を行いました。

【今後】他地域や他都道府県の皆さまと情報交換を行うことは、私たちにとっても大きな刺激となります。こうした交流で得た視点を、これからの市内の協議体活動にしっかりと活かしていきます。

第2層協議体小規模情報交換会開催のお知らせ

昨年に引き続き第2層協議体小規模情報交換会を行います。各協議体6名まで参加できます。ぜひ、多くの方に参加していただき、各地区の協議体活動に活し、楽しくみんなで話しましょう。

- 【目的】・数か所の第2層協議体の住民メンバー間で活動状況に関する情報等を交換し、自地域に持ち帰ることで、今後の活動における参考事例や課題の共有及び今後の活動への意欲向上を図る。
・住民メンバー同士がつながり、地域間の連携体制を構築する契機とする。

【内容】テーマ：お互いを知ってつながる

- ・近隣同士の協議体で情報交換
- ・各地区の高齢者を支える社会資源の紹介
(第2層協議体としてどのように情報交換しているか、不足している活動を創出しているか)

第1回 ○日時：令和8年2月16日(月) 10:00~12:00

○会場：市民活動センターソシアス

○対象地区：中央・南・城南、北・東・西、佐野、城東・東部、塚沢・浜尻、新高尾・中川、六郷・北部(7協議体)



第2回 ○日時：令和8年2月16日(月) 13:30~15:30

○会場：市民活動センターソシアス

○対象地区：八幡、豊岡、乗附、長野、榛名、群馬(なのはな)、群馬(さくら)、箕郷、倉淵(9協議体)



第3回 ○日時：令和8年2月17日(火) 10:00~12:00

○会場：高崎市役所 20階 研修室

○対象地区：大類、滝川・京ヶ島、中居・矢中、岩鼻(4協議体)



第4回 ○日時：令和8年2月17日(火) 13:30~15:30

○会場：高崎市役所 20階 研修室

○対象地区：吉井、南八幡、寺尾・城山、片岡、新町、倉賀野(6協議体)

12・1月の第1層協議体の話し合いの内容



12月

＜住民企画会議＞

- ・地域包括ケアフェスティバル(11/22)の振り返り
→全体の来場者369名 協議体ブースでのアンケート106名
- ・小規模情報交換会について意見交換
→第2層協議体としての情報交換に焦点を当て情報交換を行う
- ・意見交換
→居場所のフォローアップ方法や視覚化への工夫について検討

＜事業推進会議＞

【グループワーク】

- ・協議体で開催した勉強会等について、グループで話し合い

1月

＜住民企画会議＞

- ・意見交換
→参加のハードルの低い意見交換会の開催
→既存の協議体メンバー向けの説明会の実施を計画に落とし込む
→居場所づくりのバックアップに向けて既存の居場所の見学
→SC通信の内容を検索ができるようにしていく
- ・第2層協議体小規模情報交換会について確認

＜事業推進会議＞

【グループワーク】

- ・第2層協議体情報交換会に向けて、それぞれの協議体の進捗についてあんしんセンター間で情報交換

発行元：高崎市第1層生活支援コーディネーター
連絡先：027-321-1319 (高崎市長寿社会課)

高崎市 HP「お互い様で支え合う地域づくり(生活支援体制整備事業)」
<https://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2019011800019/>

